

NEWS RELEASE

日本板硝子株式会社

2020年7月3日

GM サプライヤー・オブ・ザ・イヤーを受賞

GENERAL MOTORS

2019
SUPPLIER
of the
YEAR



NSGグループはゼネラルモーターズ（GM）の第28回サプライヤー・オブ・ザ・イヤーを受賞しました。授賞式は当初、3月にライブイベントとして開催予定でしたが、COVID-19パンデミックの影響で延期となっており、6月24日にバーチャル表彰式が開催されました。当社の受賞はこれで3回目です。

GMは今年度、常に期待を上回り、傑出した価値を創造し、新しい革新をもたらした15カ国の最優秀サプライヤー116社を表彰しました。当社の受賞は1992年の同賞発足以来3回目になります。

「お客様にふさわしい製品、サービス、体験を提供する上で、サプライヤーは重要な役割を果たしています。今回受賞のサプライヤーは、期待以上の働きをしてくださいました」と、GMのシルパン・アミン グローバル調達サプライチェーン担当副社長は述べています。「また、この数ヶ月間のCOVID-19の影響を軽減するための努力に感謝することも重要なことだと考えています。私たちは製造業務を安全に再開することができただけでなく、サプライヤーは、人命を救い、地域社会の安全を守るために、最前線の医療従事者への人工呼吸器と個人用保護具（PPE）の供給を増やすという私たちの取り組みを支援する上で、重要な役割を果たしてくれました。」

日本板硝子株式会社 広報部

〒108-6321 東京都港区三田 3-5-27

電話：03-5443-9477 FAX：03-5443-9543

サプライヤー・オブ・ザ・イヤーの受賞企業は、GMの購買、エンジニアリング、品質、製造、物流のエグゼクティブからなるグローバルチームによって、製品購買、グローバル購買・製造サービス、カスタマーケア・アフターセールス、ロジスティクスの各部門の業績基準に基づいて選出されました。

NSGグループの自動車部門グローバルヘッドであるTony Fradgleyは、「このような賞を受賞できたことを光栄に思います。今回の受賞は、GMが当社のサービスの基本的な信頼性と品質を重視していることを評価していただいたものです。また、我々の緊密なパートナーシップにより、特に先進的なフロントガラスの開発において、革新的なソリューションを提供することができました。GMとは、衝突事故ゼロ、排出ガスゼロ、渋滞ゼロという目標に向けた揺るぎないコミットメントを共有しています。今後もお客様の期待に応えて参ります。」と述べています。

日本板硝子株式会社（NSG グループ）は、建築用・自動車用ガラス、ガラス加工製品、および高機能ガラス製品の分野において、世界最大手メーカーの一つです。グループ従業員数は約 27,000 人。28 カ国に主要な製造拠点をもち、130 カ国以上で製品の販売を行っています。1918 年に創業し、2006 年フロートガラス製法の発明者でガラス業界のグローバルリーダーであった Pilkington 社との統合を実施しました。Pilkington の名称は、当社グループの建築および自動車ガラスの商標として引き続き使用されています。<http://www.nsg.co.jp>

ゼネラルモーターズおよびそのパートナー企業は世界 30 カ国で自動車を製造し、世界で最大の、最速で成長を遂げる自動車市場において首位を保っています。GM とその子会社および合併会社は、Chevrolet、Cadillac、Baojun、Buick、GMC、Holden、Jiefang、Opel、Vauxhall および Wuling といったブランドで車を販売しています。同社および子会社である、車両の安全、セキュリティおよび情報サービスのグローバルリーダー OnStar 等については以下をご参照ください。
<http://www.gm.com>